

アジアヘッドクォーター特区の外国企業誘致策

平成24年10月31日
東京都

- ・ 特区の利点を活用（規制緩和、税制優遇）しながら、各ステージにおいて都独自の積極策を実施
- ・ 誘致活動や企業マッチングの際に、他の特区を取組を紹介しながら具体的な成約に向け支援

東京未進出	東京進出	法人設立	業務拡大	二次投資
<p>海外誘致セミナーを活用した誘致活動</p> <p>都主催見本市への招聘</p>	<p>入国手続きの迅速化 提出資料の簡素化 ※規制緩和要望</p>	<p>法人税所得控除 投資税額控除</p> <p>法人事業税の減免 固定資産税等の減免</p>	<p>マッチングによる 新技術創出に対する 財政支援</p>	
<p>民間ノウハウを活用した発掘誘致</p> <p>海外見本市を活用した誘致活動</p>	<p>ビジネスコンシェルジュ東京を活用したワンストップ支援（H24.10.1設立）</p>			
	<p>入国手続きの代行</p>	<p>法人設立支援</p>	<p>企業マッチング 専門コンサルティング</p>	
<p>誘致活動の中で、他の特区の取組みを積極的にPR</p> <p>東京以外に興味をもつ企業に対して他の特区を紹介</p>			<p>他の特区内企業とのマッチング、他の特区への二次投資に対する支援</p> <p>産業交流支援施設を活用したマッチング、見本市等の開催</p>	

<外国企業誘致活動>

ターゲットとする外国企業

誘致目標：500社（業務統括拠点・研究開発拠点50社を含む）

対象業種：情報通信、**医療**・化学、電子・精密機械、環境

※経産省「アジア拠点化立地推進事業」での誘致実績では、上記4産業で投資関心が高い

競争相手：上海、香港、シンガポール、ソウル

□ RHQ誘致の競合

RHQの立地状況

	国・地域名	拠点数
1	中国	22
2	香港	16
3	シンガポール	10
4	日本	4
5	マレーシア	3

出典：経済産業省「欧米アジアの外国企業の対日投資関心度調査」(2012年)

□ R&D誘致の競合

R&Dの立地競争力

	国・地域名	割合
1	中国	48%
2	日本	27%
3	シンガポール	15%
4	インド	6%
5	マレーシア	3%

出典：経済産業省「欧米アジアの外国企業の対日投資関心度調査」(2012年)

誘致・発掘事業

- ターゲット顧客中の数百社の**経営層に直接コンタクト**
- 有望企業に対して、RHQ/R&D拠点をAHQ特区内に立地する場合の**あらゆる専門的検討を支援**
- 減税やインセンティブの活用を支援を通じて、投資意思決定を後押し

海外見本市の活用

次回のMEDICAにおいて、京浜特区の取組を紹介

見本市名	開催都市	対象分野	出展企業
ACHEMA	フランクフルト	バイオテクノロジー	3,767社
MEDICA	デュッセルドルフ	医療機器・医療製品	4,572社
CES	ラスベガス	エレクトロニクス	3,319社

海外誘致セミナー等の活用

- 毎年2月下旬～3月上旬にかけて、ドイツ（デュッセルドルフ）において、海外企業誘致セミナーを開催
- 日本進出に興味をもった企業に対して、10月に都が開催する**産業交流展へ招聘**

ホームページの活用

- アジアヘッドクォーター特区ホームページにおいて京浜特区とリンクを貼りPR

<外国企業支援メニュー>

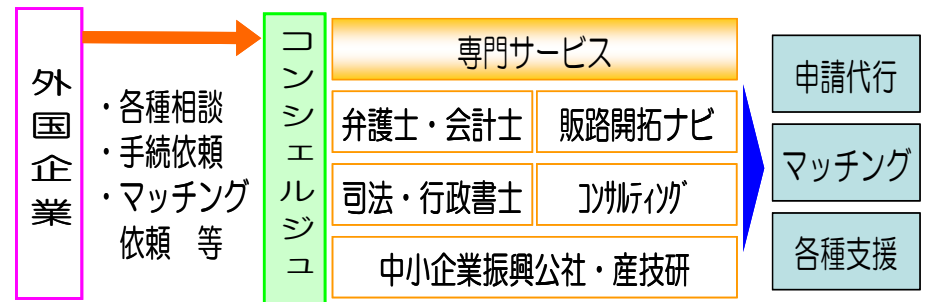
ビジネスコンシェルジュ東京

設置場所：新丸ビル10階

- 支援内容：
- ニーズに適った専門サービス提供者の紹介
 - ビジネスクラブを活用したビジネスマッチング
 - 資金調達、知財戦略の策定など、事業展開サポート
 - 外国企業の従事者やその家族が、東京で日常生活する上で有用となる情報を提供



平成24年10月1日開設



ビジネスマッチングの流れ

○ビジネス交流会を活用した企業間によるFace to Faceのマッチング

○企業データベースによる個別ニーズに合ったマッチング

ライフノベーション特区内の企業（研究機関）について、企業データベースの登録やビジネス交流会への参加が可能

